

8月20日(日) 開放感あふれる水泳大会

全国でも珍しい、淡水で行われるオープンウォータースイムレース「第4回琵琶湖・長浜オープンウォータースイムレース」が南浜水泳場で行われました。

今年から日本水泳連盟公認のレースとなったこの大会に、京阪神、東海を中心に全国から約650人が参加しました。

この日は夏の日差しが強く暑い日となりましたが、小学生から80歳代の全選手がゴールを目指しました。



8月22日(火)～25日(金) 夏の夜を楽しむ大縁日

木之本地蔵院一帯で、毎年恒例の木之本地蔵大縁日が行われました。

今年も地蔵坂・北国街道でおおよそ130もの露店が軒を連ね、4日間でおおよそ10万人もの人が訪れました。また、商店街の店舗が出店している銘菓や銘酒のブースも好評を博しました。

縁日最終日には木之本大花火大会が行われ、終わりが近づく夏の夜を彩りました。



8月23日(水) 「全ての子どもたちに教育を」国連で提案

日本青年会議所が派遣する「少年少女国連大使」に参加した渡辺瑚子さん(長浜小6年)がアメリカ・ニューヨークで行った活動成果を藤井市長に報告しました。

渡辺さんは7月末から約1週間、貧困国の教育について研修し、誰もが教育を受けられる仕組みを国連本部で提案しました。

報告の中で「人生は一度きりなので、いろんなことに興味を持ってチャレンジしたい」と自身の抱負を語りました。



8月26日(土) スポーツ・景色・音楽・食 湖北の魅力満喫

今年で3回目となる「LOVE FOR KOHOKU～湖北八景が創る新世界～」が豊公園で開催されました。

湖北地域の良さをPRしようと長浜青年会議所が開いたもので、自転車車で湖北の豊かな景観を巡る「ツールド湖北」のほか、湖北八景のグッズを集める宝探しゲームなどが行われました。

メインステージではプラスバンドの演奏などが行われ、景色以外でも来場者たちを楽しませていました。



このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介します。あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報課(☎65-6504)までお知らせください。市公式Facebookページでもさらに詳しくみることができます。

<https://www.facebook.com/nagahama.hotnews>

「長浜 ほっとにゅーす」

検索

8月27日(日) 尊い生命を救う「献血」を呼びかけ

今年も長浜楽市駐車場で湖北長浜1000人献血運動「夏の陣!」が行われました。

1000人献血の会が主催しているもので今年で29回目。全血献血400mlへの協力のほか、骨髄バンクのドナー登録も呼びかけ、130人を超える貴重な献血者が集まりました。

1000人献血の会は、「来年は30年の節目。しっかりと献血の啓発に取り組みたい」と決意を語りました。



9月1日(金) 五穀豊穡を祈願

湖北町速水の伊豆神社で、五穀豊穡を祈願する八朔大祭が行われました。

仲哀天皇が遠征時に速水の伊豆神社に立ち寄り戦勝を祈願し、八朔(旧暦8月1日)に戦勝を報告したのが起源で、本日は小学6年生の女子児童による「浦安の舞」や、小学生男子児童による「少年角力」が奉納され、優美な舞や可愛いらしい取組などで観衆を大いに沸かせました。



9月2日(土) 夏を締めくくる熱い踊り

浅井文化スポーツ公園でよさこいイベント「長浜あざいあつぱれ祭り」が開催され、18回目となる今年は県内外から28チーム、おおよそ1,000人が出場しました。

チームごとに衣装や演出に特徴があり、チームが変わることにステージの雰囲気も一変。それぞれのチームが熱い踊りで会場を盛り上げました。フィナーレには花火も打ち上げられ、大盛況のうちに幕を閉じました。



9月3日(日) 子どもたちに身体を動かす楽しさを

長浜市とびわこ成蹊スポーツ大学の連携事業としてながはまスポーツキッズフェスティバルが行われました。

4歳児～小学校3年生までを対象に、リズム・バランス・タイミングの要素を取り入れたプログラムを行いました。子どもたちを指導するのはびわこ成蹊スポーツ大学の学生たち。遊び心があって子どもたちが親しみやすいプログラムなどを取り入れ、子どもたちに楽しく指導しました。

